

授業科目名 (英文表記)	持続可能な現代社会 ―雇用・福祉・財政の観点から― (Sustainable Modern Society)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	岡田 真理子、金川めぐみ、中島 正博		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月6日(土) 13:00~17:00	担当: 岡田	
	第2回 6月7日(日) 13:00~17:00	担当: 岡田	
	第3回 6月12日(金) 18:30~20:50	担当: 金川	
	第4回 6月13日(土) 10:00~16:00	担当: 金川	
	第5回 6月19日(金) 18:30~20:50	担当: 中島	
	第6回 6月20日(土) 10:00~16:00	担当: 中島	
<p>【授業のねらい・概要】 現代の経済社会を考察する時、「雇用・福祉・財政」に関する理解は不可欠です。この講義では、「雇用・福祉・財政」の現代社会における特徴を理解し、それぞれの分野が抱える課題について考察します。持続可能な現代社会を構築するために必要な「雇用・福祉・財政」の観点について理解を深めます。</p> <p>【授業計画】 第1回 「現代社会と雇用の特徴」 戦後日本の雇用の在り方が生成されてきた過程を明らかにし、日本的雇用慣行の特徴を考えます。 とくに「終身雇用」と呼称される長期勤続雇用慣行とそれにともなう「年功賃金」などさまざまな人事管理制度の特徴について考えます。 第2回 「現代社会と雇用の課題」 日本的雇用慣行がもたらした現代日本の雇用の課題について、とくに1990年代以降に生じてきた格差問題や貧困問題との関連から考えます。 第3回 「現代社会と福祉の特徴」 戦後日本の福祉の形成過程を明らかにし、日本における福祉政策の特徴を考えます。 とくに、高度経済成長期以降に主張された「日本型福祉社会論」がもたらした弊害と、2000年代以降の社会福祉基礎構造改革の流れについてみていきます。 第4回 「現代社会と福祉の課題」 近年の社会保障・福祉の改革動向をもとに、その到達点と課題を検証していきます。 第5回 「現代社会と財政の特徴」 高度経済成長時期と、それ以降変化してきた日本の財政の特徴について考えるとともに、とりわけ地域振興・公共事業や「赤字国債」について考えます。 第6回 「現代社会と財政の課題」 消費税増税延期をうけ社会保障と税の一体改革の今後はどうなるのか、そもそも今後の少子高齢社会の進展のなかで、財政の持続可能性はどうなるか、について考えます。</p> <p>【到達目標】 「雇用・福祉・財政」の特徴を理解し、課題について考察できる力量をつける。</p> <p>【教科書】 特になし。必要に応じて資料を配布します。</p> <p>【参考書】 本田由紀「もじれる社会」ちくま新書 2014年 阿部彩「弱者の居場所がない社会―貧困・格差と社会的包摂」講談社現代新書 2011年 神野直彦「「分かち合い」の経済学」岩波新書 2010年</p> <p>【成績評価方法】 偶数回に、小テストまたはレポートを課します。その合計の評価で判定します。</p> <p>【授業時間外学習】 「雇用・福祉・財政」について学んだ概念や仕組みについて、復習と自主的な学習が必要です。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 事前に参考書に挙げた3冊に目を通してください。</p>			